

北砂小学校 研究だより

2026

No. 4

令和8年7月14日（火）
研究主任 木本 晴奈

今回は2年生生活科の学習です。自分たちでお店に野菜の苗を買いに行き、大切に大切に育ててきました。「あともう1つトマトがとれたら、家族みんなで食べられるんだ！」など嬉しそうに話している姿が印象的でした。野菜博士に来てもらうことで子どもたちはさらに興味をもち、くわしく知ってみたいと前のめりに活動をしていました！ぜひご一読ください！



第3回目の授業（2年生）をご紹介します！

6月15日（月）に2年生、生活科「めざせやさいづくり名人」の研究授業を2年3組担任の泉教諭が行いました。



1年生であそがの栽培を終えた子どもたちは、1人1つ自分の育てたい野菜の苗を選びました。「もっと大きく育てたい」「たくさん収穫したい」という目的意識をもって取り組み、子どもたちが「やってみたい」と思う世話を実行できるように環境を整えました。



野菜博士をお呼びし、より詳しい世話の仕方を教えてもらい、作業も一緒に行いました。



2年生になり、タブレット学習でクラスクラウドも活用し始めました。成長や変化に関心をもちながら気付いたことを視点ごとに分類したり写真を撮ったりして記録しました。



STEAM教育の視点を生かし、子どもたちの「なぜだろう？」「もっとこうしよう！」と試行錯誤しながら主体的・探究的な学びを大切にしていきます。

北砂小学校 研究だより

2026

No. 4

未来をそうぞうする児童の育成

～STEAM教育の実践を通して～



★授業を参観した教員の感想

80字作文

低学年は、自分の言葉で表現することとを大切にしたい。しかし、表現の仕方に戸惑いを感じている子もいるので、気づきを共有して表現が深まるように授業を計画していきたい。

80字作文

自分の野菜を育てるという感覚が意欲へとつながっていた。ICTの活用も、活用し思考すること、よくまとめることができる。見本を紹介することで、全体で理解を深めることができ、学びも深められるとわかった。

80字作文

題材の設定が大事だと思った。児童が興味を持てる内容ならば、意欲をもてると思う。また、自分で選んだ野菜を自分で買いに行くという学習活動の工夫もよかったと思う。

80字作文

野菜マイスターによる話が、子どもたちの学習意欲につながっていた。また、子どもたちにとってなじみのない用語が使われることで、自然と語彙が広がり知識や関心につながっていると感じた。

今後の予定は？

7月2日に3年生の総合的な学習の時間の授業、7月13日に1年生の生活科の授業を行いました。9月に4年生5年生の授業を控えています。

12月の研究発表会に向けて少しずつ準備を進めているところです。2年間の成果をお伝えできるよう、がんばります。



ご意見ご感想はこちらへ

